

# 国際社会学部

## 舩方周一郎

Masukata Shuichiro

地域社会研究コース／ラテンアメリカ地域

国際関係論・ラテンアメリカ政治



### 国際関係論・ラテンアメリカ（ブラジル）政治とは

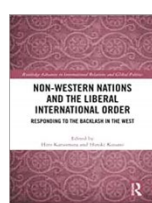
専門は国際関係論・ラテンアメリカ政治です。なかでも、現代のブラジル政治・外交を主な研究対象としています。ラテンアメリカ地域は、長らく経済発展・民主化・紛争・社会運動などの普遍的な政治現象を理解するための実験場でした。ラテンアメリカが直面してきた課題は、現在のアジア・アフリカ・中東諸国が直面する課題でもあります。他方、ラテンアメリカ(ブラジル)は貿易や移民の関係から、欧米・中東・アフリカとの交流が栄えてきました。近年は、感染症や気候変動など地球規模の課題に取り組むために、中国・インド・日本などアジアとの関係も深まっています。ブラジル政治・外交を国際関係の視点から学ぶことは、西洋中心の世界観だけでは解明できない政治の多様性を理解することにつながります。

### 研究紹介

政治的・社会的な分極化の深刻さが伝えられるブラジルを中心としたラテンアメリカの政治と社会と、エネルギー・気候変動分野を通じたブラジルの対外政策について研究してきました。最近、米国を中心とするリベラル国際秩序の再編にむけた新興大国の行動と、さまざまな地域が自立しながら地球レベルでの相互依存関係を持つ「複合型の世界」の動向に注目しています。具体的なテーマは、環境・文化政策における日本/中国-ブラジル関係、エネルギー安全保障にむけたインド太平洋とラテンアメリカとの地域間関係に関するものです。

### 国際関係論・ラテンアメリカ（ブラジル）政治

- Brazil-Japan Cooperation
- ラテンアメリカ 地球規模課題の実践
- 日本の国際協力 中南米編
- Non-Western Nations and the Liberal International Order



ラテンアメリカ政治史を古代から現代まで扱った概説書です。

ラテンアメリカの展開を世界の状況と関連づけつつ、ラテンアメリカ全体の特徴とラテンアメリカ内部の多様性を説明することを心掛けました。



### 担当授業

- ブラジル地域研究入門
- ブラジルの政治経済
- 地域社会研究入門
- ブラジルの人と社会
- 国際社会の中のブラジル
- 専門言語（ポルトガル語基礎講読）

### 関連する分野

- 環境政治学
- 国際関係論
- 比較地域研究
- ブラジル・ラテンアメリカ政治

### 出版物

ブラジル・ラテンアメリカ政治

- 『世界の中のラテンアメリカ政治』
  - 『Brazil-Japan Cooperation』
  - 『ラテンアメリカ地球規模課題の実践』
- 環境政治学
- 『つながりと選択の環境政治学』
- 国際関係論
- 『Non-Western Nations and the Liberal International Order』
  - 『日本の国際協力 中南米編』

## 国際社会学部

# 比較地域研究ゼミ

### どのようなゼミか

本ゼミの狙いは、異なる地域の間にある「見えないつながりを見つけること」です。地域社会研究コースのゼミは、各語科が対象とする国・地域をテーマにするものが多いです。このゼミはそうしたゼミの形式とは異なり、地域・専攻が対象とする視点だけでは捉えきれない見えないつながり(関係性)を明らかにする橋渡しをしています。ゼミ生たちは複数の地域・専攻に所属しており、関心も人種・ジェンダー・スポーツ・環境・開発・暴力・宗教・紛争・民主化・都市・ナショナリズム・ソーシャルメディア・記憶・社会運動・音楽など、多岐にわたっています。

比較地域研究は、国際関係論と地域研究を兼ね備えた古くて新しい学問です。特定の地域に限定せず、異なる地域の関係性を比較したり関係づけたりして、ひとまず変わりゆく場所を提供することで、新しい研究領域を構築することに貢献してきました。最近ではグローバル(国際)関係学と呼ばれることもあります。国際関係論と地域研究の両方を学べる欲張りな学問といえるかもしれません。

ゼミ生は、みな新しい領域を開拓しようとする旺盛な好奇心と豊かな創造力をもつ「冒険者」たちです。担当教員の主なフィールドはブラジルを中心としたラテンアメリカ地域ですが、ゼミ生が研究対象とする国や地域は限定していません。むしろ本ゼミでは、関心あるテーマや対象地域は教員の専門分野とはできるだけ違っている方がよいとしており、ゼミを通じてブラジル・ラテンアメリカ地域との関わりに関心を持つ人もいれば、まったく違うテーマを発見する人もいます。

ゼミの目標を定めるのであれば、ゼミ生一人一人が自分の問題関心を突き詰めて、学術の領域にまで高めて最後は論文というかたちに表現できるようになることです。教員の私にできることといえば、個々の興味関心に有用と思われる分析の方法や、これまでの研究の紹介を通じて、より深い理論的な分析力を身につけられるように学生と一緒に悩みながら学んでいくことです。

(地域社会研究コース 舩方周一郎ゼミ)

舩方ゼミの特徴は自身の興味がある研究テーマを、様々なバックグラウンドや興味関心を持つ仲間と議論を深めて突き詰められるところです。このゼミでは「ブラジル(ラテンアメリカ)を起点とした比較地域研究」を掲げていますが、扱うテーマは各々で大きく異なります。4期生はスペイン語科やポルトガル語科で構成されていますが、扱う地域はアメリカ、朝鮮、ベネズエラ=中国や、インドネシアなど多岐にわたります。3期生の先輩方も様々な語科の出身です。また個人によってテーマは大きく異なるものの、「地域研究は何のためにあるのか?」「その問題は善悪で片付けられるのか?」など物事、そして地域研究の根幹となる考え方もゼミを通して学んでいきます。こうした事柄を仲間と議論しながら、自身の研究につなげていきます。懇談会も定期的開催するなど雰囲気の良いゼミで、来年はゼミ合宿も再開できればと思います!舩方ゼミのホームページ [masukata-seminar.org](http://masukata-seminar.org) で普段のゼミの様子も公開しています。後輩の皆様の入ゼミをお待ちしています!(向井シヨーン虎太郎)



フィールドは世界空間、対象は未解明のつながり

### 卒論

- Anti-femicide Movements and Criminalization of Femicide in Mexico
- Soybean Production and Related Health Problems among Farmers in Brazil
- 商業主義がヨーロッパのサッカーにもたらした変化
- 女性画家デボラ・アランゴを通して考察する近代コロンビア社会の深層

### おススメの本

- 酒井啓子『グローバル関係学とは何か』
- アミタフ・アチャリア『アメリカ世界秩序の終焉』
- 恒川恵市『新興国は世界を変えるか』
- 草野大希他『国際関係論入門』
- 岸見一郎他『嫌われる勇気』